

企画書

SNS を使った余ったカードで募金

デザインマネジメント

個人情報

Web コミュニケーションを使って課題キャンペーン企画

個人情報

募金への現代的ステップアップ

寄付することに抵抗のある人、したことが無い人が第一歩を踏み出すステップの寄付。
現金を寄付することには抵抗があるが、図書カードやラガールカード、iTunesカードの中途半端な残りを寄付する
と言う事で抵抗を低くすることができる。お金を寄付する敷居の高さを低くすることができれば、ネットの方のオン
ライン寄付へと移行することもできるだろうという考え。

そこで、サイトをネットをふんだんに使い充実したサイト作りをする。サイトのデザインや説明不足で信用度が
低いことが原因で信頼できないことがある。と考え、ネットをふんだんに使ったコンテンツ作りをすることにより、
信頼度をあげる。現状を発信する動画や写真、文字。他にも何人ぐらい寄付したか、どんな人が寄付したかが分か
るように twitter や Facebook などの SNS を使った個人での情報発信。どう変わったかなどを紹介する。現地がどう
なったかがわかるリアルタイム交流。リアルタイムに双方向に交流することによって自分が寄付した結果が容易に
わかり実感がある。

医療について

現在、いろんな場所で医者が治療にあたっている。しかし、どれだけ医者が治療にあたっても、十分な食事、栄養
のあるものを食べられなければ、病気は治ることがない。そこでテーマを『医療』とし寄付の仕組みを考えた。

ターゲット

ライフステージ

- ・ 25歳
- ・ 社会人
- ・ 男性
- ・ 東京暮らし

ライフスタイル

- ・ 新しい物好き

生活空間

- ・ 本屋に行ったとき
- ・ ふとした瞬間に

ストーリー

新しいモノ好きな男性。ネットで情報収集をしていると、twitter から「募金しました。」というツイートが流れてきた。いつもと同じ様な募金だろうとリンク先には飛ばなかったが、その後 twitter にこのサイトはおもしろいと連続で流れてきた。気になりそのリンク先に行くと栄養失調の現状が書いていた。写真や映像が多く、文字が少ないためずらずらとフッターまでスクロールしていった。ページの最後の方にはネットでの募金方法と店舗での募金方法、募金した人のツイートが流れていた。そして、ネット上で募金した人とされた側の人 がコミュニケーションを取っていることも書いていた。そこでは、募金されたお金はどう使われたのか、それがあったことでどうなったかなど、現地の人や寄付された側の人 が写真や文字で感謝をしていた。




次の日、本屋に雑誌を買いに行った。レジに向かい図書カードで本を購入すると残金が100円ほど。レジの横には昨日見たサイトの寄付ボックスが置いてあった。現金を寄付するには躊躇したが、図書カードならとそのカードを寄付し、それをツイートした。

イメージマップ

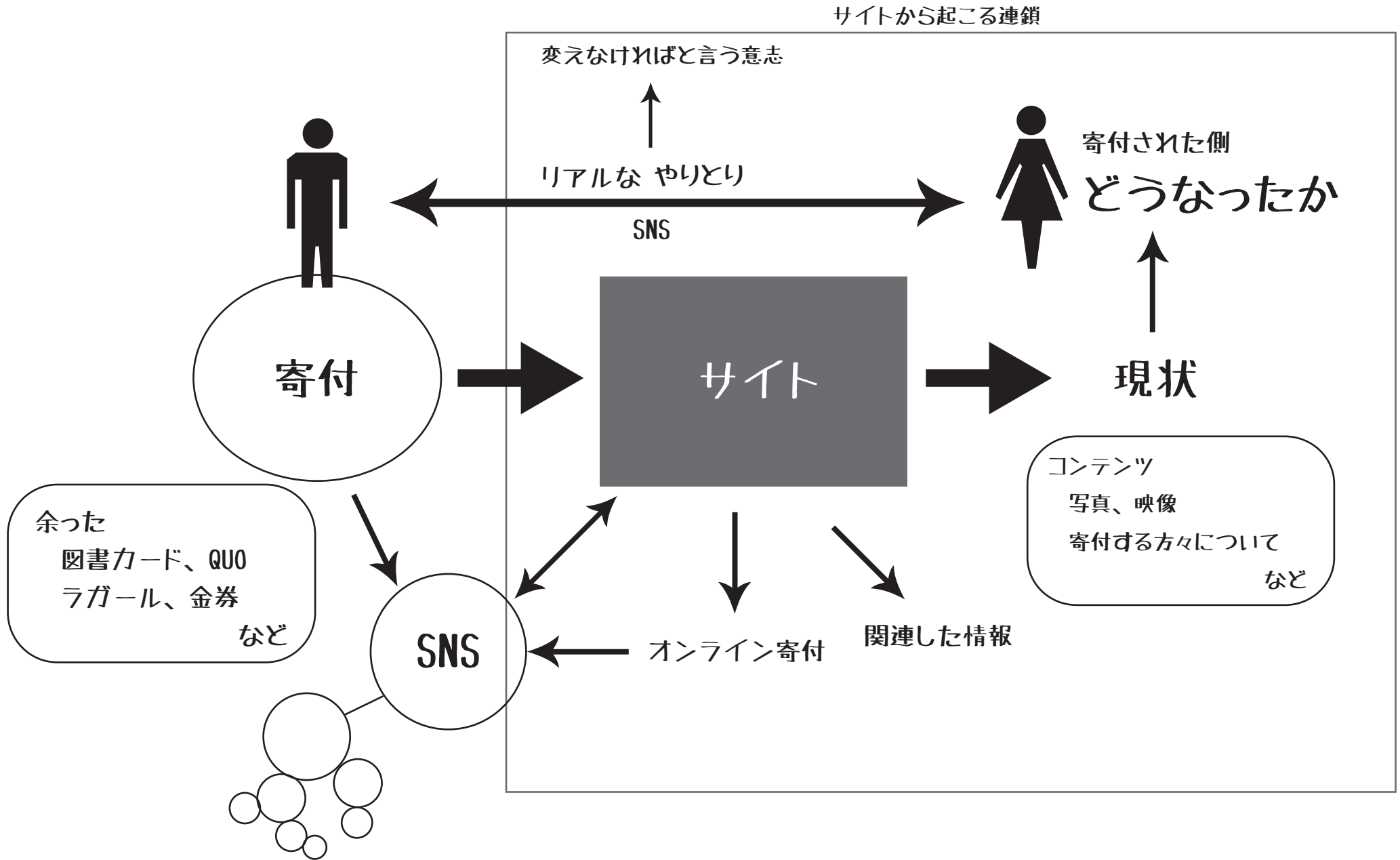
エスニック      モダン

ロマンティック      マニッシュ

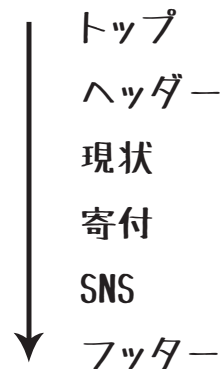
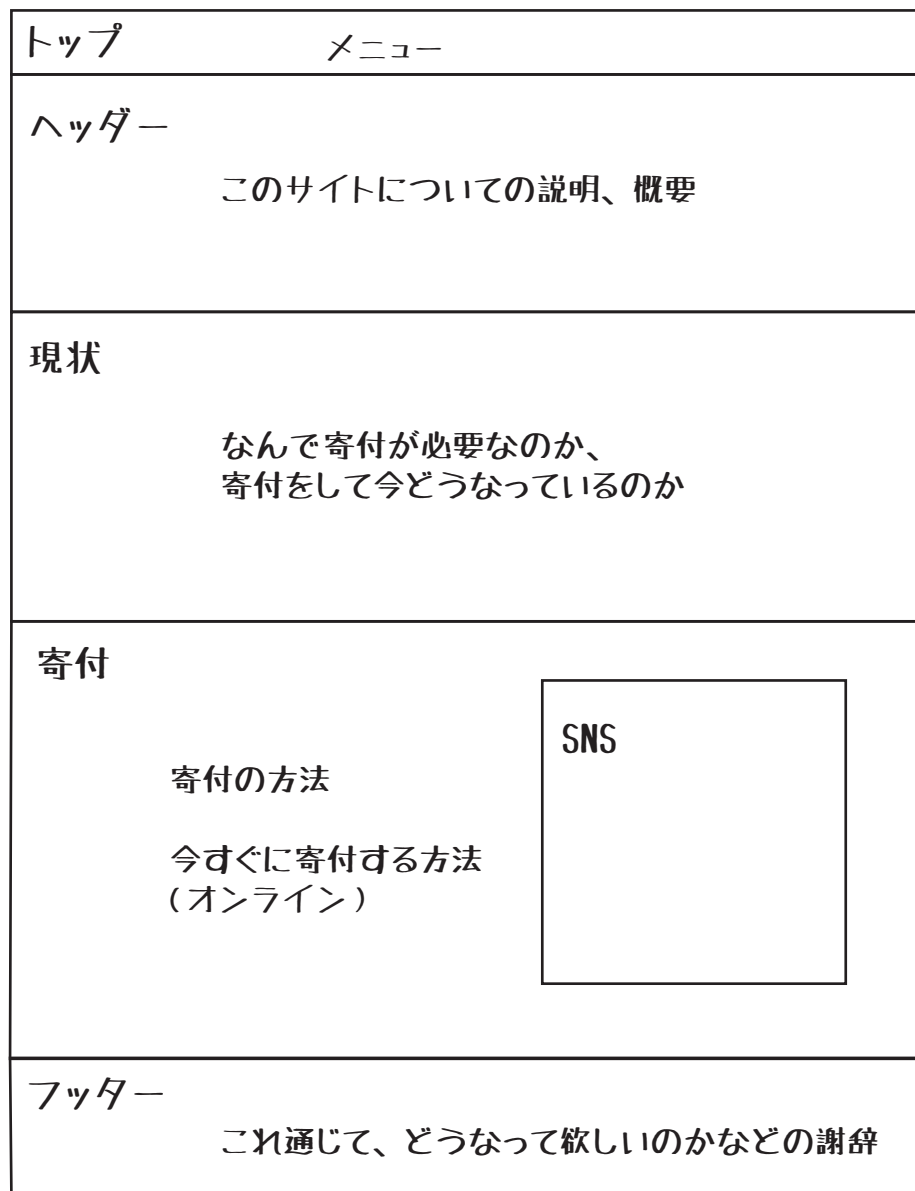
エレガンス      アクティブ

リフisqueート      カントリー

仕組み



サイトマップ



- ・1枚の縦長サイト
流しで見られるように
- ・パララックス効果を用いたサイト
堅苦しく、見るのをやめてしまう
よりも、興味が沸き、最後までス
クロールしてもらうため。
- ・写真を大きく使用
文字の訴えよりも、直感的に目で
現状をみてもらい、実感を持たせる
ため